

第81期

## 株主通信

令和4年4月1日～令和5年3月31日

モリ工業株式会社

証券コード | 5464

### ごあいさつ



代表取締役社長 森 宏明

平素は格別のお引き立てにあずかり有難く厚く御礼申し上げます。  
ここに、当社第81期(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の株主通信をお届けするに当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、度重なる新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けながらも、ワクチン接種等の効果により、重症化リスクは低減し、経済活動は徐々に回復してきております。しかしながら、ウクライナ情勢は解決の糸口をつかめないまま長期化しており、世界的なインフレ、金融引き締めによる景気減速が懸念されております。また日本におきましても、物価やエネルギー価格の上昇による個人消費の落ち込み、コスト高や輸出低迷による企業業績の悪化などが懸念されております。

当社グループが属しておりますステンレス業界は、昨年3月に高騰したニッケル市況が夏場にかけて下落しましたが、秋後半から冬場にかけて再び上昇に転じたため、結果として材料価格は高値圏で推移いたしました。材料価格の上昇に伴い、製品価格への転嫁を段階的に行いましたが、高値圏での買い控えや在庫調整等の動きもあり、販売数量は低迷いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループの当連結会計年度における売上高は487億12百万円(前年同期比13.1%増)となりました。販売単価の上昇等により、売上高は増収となっております。また収益面におきましては、販売数量は減少しましたが、販売価格が上昇し、材料価格とのスプレッドを確保でき

きたため、営業利益は67億34百万円(前年同期比18.5%増)、経常利益は71億77百万円(前年同期比16.7%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、連結子会社における土地・建物売却による固定資産売却益の計上等により、52億90百万円(前年同期比22.5%増)となりました。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前年の令和4年3月期を上回り、それぞれ過去最高益となっております。

期末配当につきましては、1株につき140円とさせていただきます。次期の配当につきましては、1株につき中間配当は40円、期末配当は90円(年間配当は1株につき130円)とさせていただきます。予定であります。

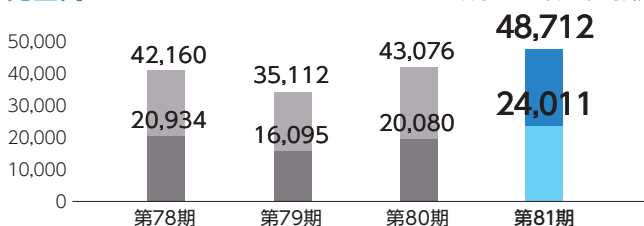
今後の見通しについてですが、世界的なインフレ、金利上昇による景気減速が懸念される中、販売数量はコロナ前の水準までは回復せず、前年度と同程度で推移し、材料価格の低下に伴い、販売価格も若干低下すると予想しております。また、材料価格の低下による棚卸評価損の発生や副資材、電気料金等のコストアップなど総合的に勘案して、通期の連結業績は前年比で減収減益と予想いたします。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

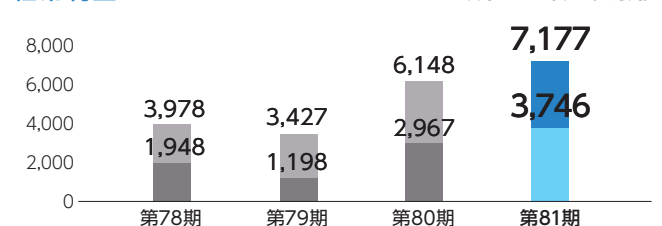
令和5年6月

## 連結財務ハイライト

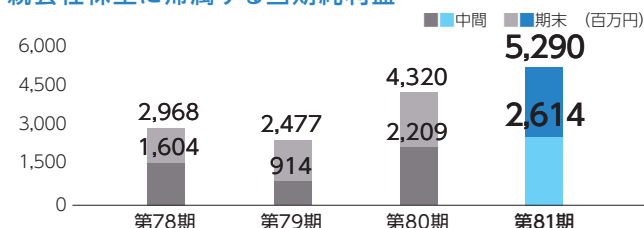
### 売上高



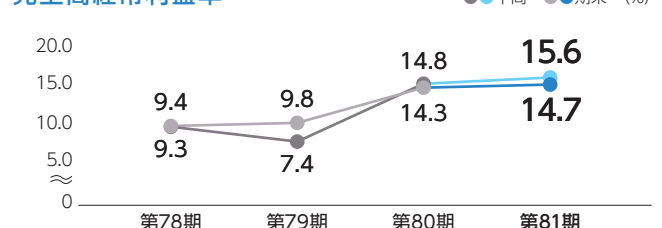
### 経常利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 売上高経常利益率



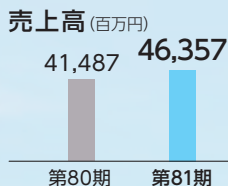
# 営業の概況

## 日本事業

売上高

**463億57**百万円

前年同期比  
**11.7%増**



日本事業の売上高は463億57百万円(前年同期比11.7%増)、セグメント営業利益は64億94百万円(前年同期比20.1%増)となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

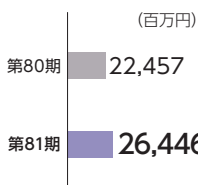


### ステンレス管部門

売上高

**264億46**百万円

前年同期比  
**17.8%増**

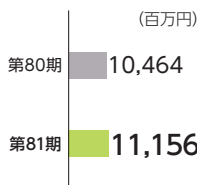


### ステンレス条鋼部門

売上高

**111億56**百万円

前年同期比  
**6.6%増**

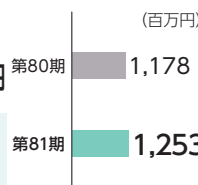


### ステンレス加工品部門

売上高

**12億53**百万円

前年同期比  
**6.3%増**

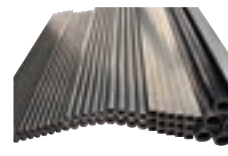
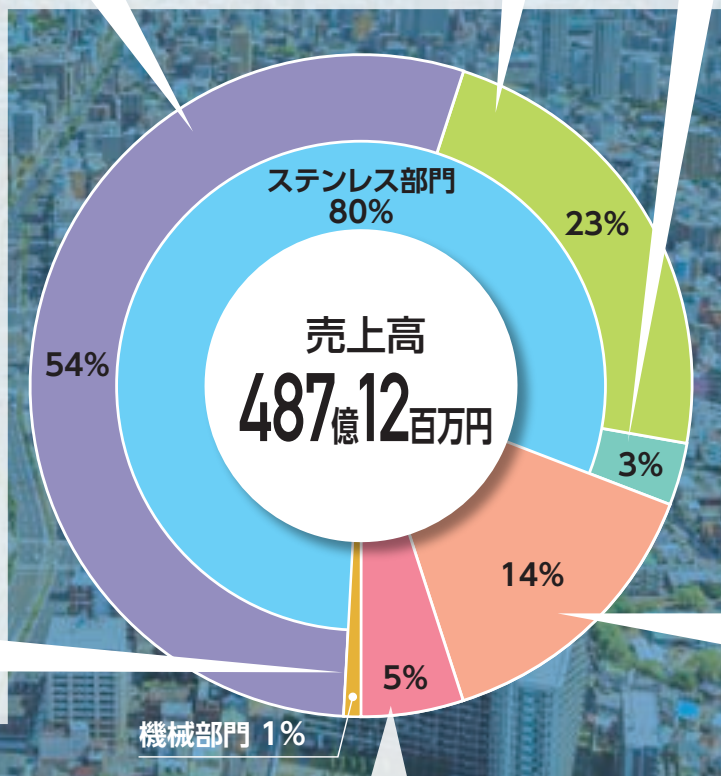
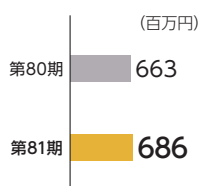


### 機械部門

売上高

**6億86**百万円

前年同期比  
**3.4%増**

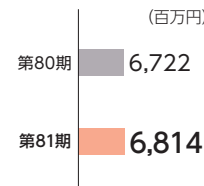


### 鋼管部門

売上高

**68億14**百万円

前年同期比  
**1.4%増**

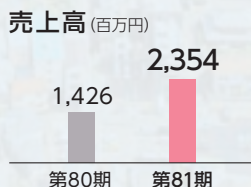


## インドネシア事業

売上高

**23億54**百万円

前年同期比  
**65.1%増**



インドネシア事業は、二輪車向けの数量が、現地のメーカー部品や世界的な半導体の不足の影響により一時減少しましたが、8月以降は回復に向かい、最終的には前年同期と比べ販売数量を伸ばすことができました。

また、四輪車メーカーの新車投入効果もあり、四輪車向けの数量は大幅に増加しました。製品価格の上昇と円安の効果もあり、売上高は23億54百万円(前年同期比65.1%増)、セグメント営業利益は2億39百万円(前年同期比77.0%増)となりました。

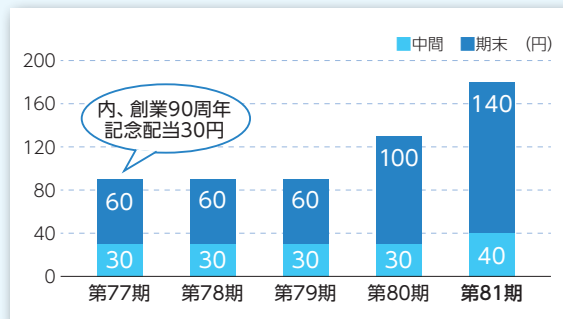
# TOPICS

## 01 配当金

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が、新記録を達成しました。期末配当につきましては、1株につき140円(過去最高金額)とさせていただきます。

株主の皆さまのご期待に沿える株主還元を今後も務めてまいります。

次期の配当につきましては1株につき中間40円、期末90円とさせていただく予定であります。



## 02 河内長野工場の生産体制強化

当年度における当社の主な取り組みとして、サプライチェーンの混乱や円安、物価高の影響を強く受ける中、より効率的な生産体制を確保することに注力しました。

昨年度のスチレンス条鋼設備の茨城工場への移設完了に続き、当社の主力工場である河内長野工場においても、ステンレス鋼管製品を中心とした製造設備の大幅なレイアウト変更を行いました。それにより、効率化及び作業負荷の低減による作業環境の改善を推進し、生産体制の強化策を着実に実行しました。

## こんなところにモリ工業!!

当社の製品は、案外身近なところに使われています。



ステンレス角パイプ

門扉のフェンス

## ホームページのご案内

様々な情報を開示しています。

<https://www.mory.co.jp/>

モリ工業

検索



トップページ

## 会社の概要

|            |   |
|------------|---|
| 会社名        | モリ工業株式会社  |
| 創業年月日      | 昭和4年4月1日  |
| 設立年月日      | 昭和19年5月29日  |
| 資本金        | 73億6,045万円  |
| 従業員数       | 667名(連結) 494名(単体)   |
| 営業品目       | ステンレス管<br>ステンレス条鋼<br>ステンレス加工品<br>鋼管<br>機械(自動パイプ切断機など)                 |
| 本店         | 〒586-8555<br>大阪府河内長野市楠町東1615番地<br>TEL (0721)54-1121(代)                |
| 本社事務所      | 〒542-0076<br>大阪市中央区難波5丁目1番60号<br>(なんばスカイオ22階)<br>TEL (06)6635-0201(代) |
| 営業拠点<br>工場 | 東京、名古屋、埼玉、新潟、中四国、福岡<br>河内長野工場、美原工場、泉大津工場                              |

## 役員

|                  |    |   |   |
|------------------|----|---|---|
| 代表取締役社長          | 森  | 宏 | 明 |
| 取締役              | 浅野 | 弘 | 明 |
| 取締役              | 中西 | 正 | 人 |
| 取締役              | 元山 | 耕 | 一 |
| 取締役<br>(常勤監査等委員) | 濱崎 | 貞 | 信 |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 小池 | 裕 | 樹 |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 林  | 修 | 一 |
| 取締役<br>(監査等委員)   | 岩崎 | 泰 | 史 |

(注)取締役(監査等委員)小池裕樹氏、林修一氏及び岩崎泰史氏は社外取締役であります。

## 執行役員

|        |    |   |   |
|--------|----|---|---|
| 社長執行役員 | 森  | 宏 | 明 |
| 常務執行役員 | 浅野 | 弘 | 明 |
| 常務執行役員 | 中西 | 正 | 人 |
| 常務執行役員 | 元山 | 耕 | 一 |
| 上席執行役員 | 森  | 信 | 司 |
| 上席執行役員 | 榎田 | 克 | 彦 |
| 上席執行役員 | 竹谷 | 佳 | 久 |
| 上席執行役員 | 北山 | 裕 | 康 |
| 執行役員   | 河野 | 博 | 光 |
| 執行役員   | 川下 | 健 | 一 |

(注)当社では、令和2年6月25日より執行役員制度を導入しております。

## 株式の状況

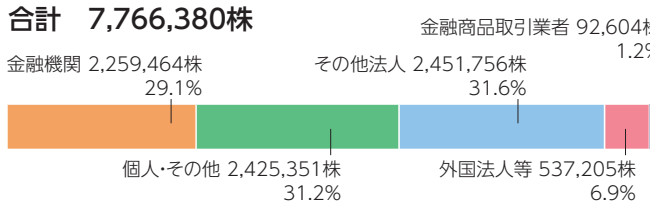
|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 30,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 7,766,380株  |
| 株主数      | 5,810名      |

## 大株主

| 株主名                     | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 481     | 6.20    |
| 森 明 信                   | 441     | 5.69    |
| 大同生命保険株式会社              | 440     | 5.67    |
| 光通信株式会社                 | 433     | 5.59    |
| 株式会社三菱UFJ銀行             | 367     | 4.74    |
| 株式会社りそな銀行               | 268     | 3.46    |
| 日本生命保険相互会社              | 267     | 3.45    |
| 公益財団法人森教育振興会            | 247     | 3.18    |
| 阪和興業株式会社                | 233     | 3.00    |
| POSCO JAPAN株式会社         | 200     | 2.58    |

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は自己株式(1,395株)を控除して計算しております。

## 所有者別株式の分布状況



## 株主メモ

|                |  |
|----------------|--|
| 事業年度           | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会開催       | 毎年6月   |
| 株主確定基準日        |  |
| 定時株主総会・期末配当金   | 3月31日  |
| (中間配当を実施する場合は) | 9月30日  |
| その他必要あるときは、    | あらかじめ公告して基準日を定めます。   |
| 単元株式数          | 100株   |
| 株主名簿管理人        | 三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 特別口座の口座管理機関    |  |
| 同連絡先           | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部<br>〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>Tel 0120-094-777(通話料無料)   |
| 公告方法           | 電子公告(当社ホームページに掲載)<br><a href="https://www.mory.co.jp/">https://www.mory.co.jp/</a><br>ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |

## (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。